



SOKA University Discover your potential

入学試験要項 2026

教職研究科 教職専攻

目 次

I. 教育理念・教育方針	(1)
1. 教育理念・目標.....	(1)
2. 入学者選抜に関する方針(アドミッション・ポリシー).....	(1)
3. 教育課程の編成・実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー).....	(2)
4. 修了認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー).....	(3)
II. 入学試験概要	(4)
1. 募集人数.....	(4)
2. 出願資格.....	(4)
3. 各コースの出願要件.....	(5)
4. 入試スケジュール.....	(6)
5. 入試方法.....	(8)
6. 試験会場.....	(8)
7. 試験内容・時間帯.....	(8)
8. 合否の判定について.....	(10)
9. 合格発表.....	(10)
III. 提出書類	(11)
1. 提出書類一覧.....	(11)
2. 書類提出上の留意点.....	(12)
3. 研修・研究歴に関する概要及び現物と 指導経験に関する概要の作成について.....	(13)
4. 単元指導計画書の作成について.....	(15)
IV. 「学校等における実習」の免除認定について	(16)
1. 「教育実践レポート」の作成・提出方法について.....	(16)
2. 「実習に関わる所見書」の作成・提出方法について.....	(18)
V. 入学手続・学費	(19)
1. 入学手続期間.....	(19)
2. 入学金・学費等.....	(19)
VI. 奨学金	(20)
1. 創価大学教職大学院牧口記念教育基金会奨学金.....	(20)
2. 創価大学教職大学院給付奨学金.....	(20)
3. 日本学生支援機構貸与奨学金.....	(21)
VII. 合理的配慮	(22)

I. 教育理念・教育方針

1. 教育理念・目標

創価大学教職大学院は、創立者池田大作先生の示された「人間教育の最高学府たれ」「新しき大文化建設の揺籃たれ」「人類の平和を守るフォートレス（要塞）たれ」との建学の精神に共通する理念である「人間主義」に基づいた学問研究と教育により、新たな人間観・教育観・発達観・方法観を更新しながら、高度の専門性と実践的能力を備えた教員養成を目的としています。

<教育目標>

教職研究科は、学校等において指導的役割を果たしうる高度な専門性と豊かな人間性、社会性を備えた実践力のある教員の養成を目指します。

2. 入学者選抜に関する方針（アドミッション・ポリシー）

創価大学教職大学院は、創価大学のアドミッション・ポリシーならびに教職大学院の特性・役割に基づき以下のように選抜します。

1. 優れた教員となるための資質としての基礎学力を有し、かつ教育への強い関心と学習意欲を有していること。
2. 他人が幸せになることや成長発達することを心から喜べる人柄であること。
3. ものごとを柔軟に捉えることができ、かつ常に自己更新していこうとする学習姿勢を有すること。

上記1.2.3の基本的な資質、人柄であることに加えて、次のような資質を有する学生を期待します。

- 10年以上程度の教職経験を有し、真摯な職務遂行を土台として、自己の実践上の教育課題や解決すべき問題が明確になっている学生（人間教育実践リーダーコース）
- 教育学部あるいは教職課程において幼稚園、小学校、中学校、高等学校等の教員免許を取得し、教師としての情熱や基礎学力を身につけている学生（人間教育プロフェSSIONALコース）
- 人文科学、社会科学、自然科学等教員に求められる教養を身につけている学生
- どのような児童生徒に対しても公平で平等な指導ができる人権感覚・国際性豊かな学生
- ものごとを前向きに捉えることができ児童生徒に希望を与えることができる人間性を有する学生
- 学校など職場の同僚と協働できる協調性を有し、かつ保護者や地域の人々と対話し交流できる社会性豊かな学生

以上の教職大学院のアドミッション・ポリシーに基づき、筆記試験（人間教育プロフェSSIONAL教育コースのみ）や口述試験、志望理由書等の多面的な評価を総合して入学者を選抜します。

3. 教育課程の編成・実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

教職大学院は、全学、および本研究科のディプロマ・ポリシーに基づき、養成する教員像にあわせて2つのコースを設置し、以下の方針でカリキュラムを編成しています。

(1) 人間教育実践リーダーコース

人間教育実践リーダーコースでは、学校における授業等の教育実践、また学校経営に指導的役割を果たせるよう、人間教育の理念に根ざした豊かな実践的指導力と高度な専門性を背景とした応用力・展開力に富むスクールリーダーを育成するため、特色あるカリキュラムを編成、実施しています。

(2) 人間教育プロフェッショナルコース

人間教育プロフェッショナルコースでは、人間教育の理念に根ざした豊かな実践的指導力と高度な専門性に裏付けされた確かな授業力を有し、各学校の有力な一員となりうる教員を養成するため、特色あるカリキュラムを編成、実施しています（*3年制は修業年限3年間で、教職大学院の教育課程と小学校教諭一種免許状もしくは中学校教諭一種免許状及び高等学校教諭一種免許状取得に必要な学部の教育課程を並行して履修します）。

(3) 教育課程編成の特色

- 共通科目については、両コースともすべて選択必修科目にしています。また、教職大学院の教育課程に位置づけることを義務づけられている5つの領域の科目をコアとなる科目として位置づけた上で、それぞれに3科目以上を配置しています。共通科目は、本教職大学院の教員の専門性がフルに発揮される理論的な性質の強い科目群であり、分野別科目で実践的な学びを築いていくための基礎ともなる科目群です。（*両コースとも5つの領域から各1科目以上を履修したうえで、人間教育実践リーダーコースは合計14単位以上、人間教育プロフェッショナルコースは合計18単位以上の修得が必要です。）
- 分野別科目については、それぞれのコースの独自性を考慮してコースごとの必修科目を設けています。これにより、教育の核となる部分については両コース必修の科目を、各コースの核となる部分についてはそれぞれのコースで必要となる科目を履修し、二つの目的・機能を果たすことができると考えられます。（*両コースとも各コースの必修科目を含め15単位以上の修得が必要です。）
- 実習研究については、人間教育プロフェッショナルコースについては、基本的に東京都公立学校で行います。「実習研究Ⅰ」では40日間、「実習研究Ⅱ」では20日間程度にわたり、教科指導や生徒指導、学級経営等を経験し、自らが学校の諸課題に主体的に取り組むことができる資質・能力を育成します。人間教育実践リーダーコースの「実習研究Ⅲ」については、勤務校等での実践的実習や先進校の研究会への参画、人間教育プロフェッショナルコースの実習研究にメンターとして関わる実習などオンデマンドな実習研究ができるようになっています。
- 国内及び国外の多様な制度、実践事例に触れたり、教育委員会と連携したりする科目により、各自の教育実践、各学校の教育を省察し、理論と実践の往還を実現することで、新たな視点から教育内容、方法を改善・展開していく視野の広い柔軟な思考力を育成します。

- 共通科目、分野別科目の中には、人間教育実践リーダーコースの現職教員学生と人間教育プロフェッショナルコースの学部卒学生が交流を図る科目があり、触発し合う中で教員としての資質・能力の向上を目指します。
- 評価のあり方 学生が身につけるべき能力について、授業ごとのディスカッションやプレゼンテーション、ジャーナルの評価と、学期末の試験やレポート、ポートフォリオ等による評価の両方を組み合わせ、適切に評価します。ティーム・ティーチングによる授業では、研究者、実務家それぞれの見地からの評価をし、協議により最終的な評価を行います。

4. 修了認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

教職大学院は、本研究科の教育目標に基づき、所定の期間以上在学し、所定の単位を修得し、以下のような資質・能力を獲得した者について修了認定し、教職修士（専門職）の学位を授与します。

○ 人間教育の理念に基づいた教育観と知識

自らの教育観について人間教育の視点から見直し、人間教育の理念に基づいた教育観を獲得すると共に、人間教育を推進していくうえで必要な知識を身につけている。

○ 教育課題に積極的に関わるための実践力

人間教育の理念に基づいた教育観と知識を基盤にし、スクールリーダーまたは将来のスクールリーダーとして学校現場において主体的に教育課題を解決するための能力を身につけている。

○ 教育の多様性と国際性に対応する視野の広さと柔軟性

国内及び国外の多様な教育制度や実践事例との比較の中で各自の教育実践、各学校の教育を振り返り、新たな視点から教育内容、方法を改善・展開していく視野の広さや柔軟性を身につけている。

○ 自己更新し続ける姿勢

児童生徒と共に成長し続ける教師であるために、高い倫理観と深い使命感をもって実践を省察し自己更新し続けようとする意欲や態度を身につけている。

Ⅱ. 入学試験概要

1. 募集人数

定員：25名

人間教育実践リーダーコース、人間教育プロフェSSIONALコースの両コース合わせて25名とします。

2. 出願資格

以下の各項のいずれかに該当し、かつ「各コースの出願要件（5ページ）」を満たす者

- (1) 大学を卒業した者、および2026年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 日本国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと教職研究科が認めた者
- (9) 教職研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者
- (10) その他教職研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※ なお、(8)～(10)の資格により出願を希望する者は、出願資格認定申請期間内に「出願資格認定申請書」「出願資格認定申請理由書」を提出し、資格審査を受けてください。

- ・出願資格認定申請があった場合は、認定の是非を本教職大学院で審査します。
- ・出願資格を認められた者については、「出願資格認定書」を発行いたします。

【申請期間】2025年9月22日（月）～2025年9月26日（金）＜必着＞

【申請書類】本学教職大学院ホームページからダウンロードしてください。

【送付先】〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-236 創価大学教職大学院事務室

3. 各コースの出願要件

(1) 人間教育実践リーダーコース（修業年限 1 年）

以下の要件のいずれかに該当する者

- ① 学校教育法施行規則第 20 条の「教育に関する職」を 10 年以上経験した現職教員
- ② 協定を締結している都道府県・政令指定都市教育委員会及び学校法人等から大学院派遣研修として推薦ないし命令を受けた者、また受ける予定の者

(2) 人間教育プロフェッショナルコース

以下の要件のいずれかに該当する者

2 年制コース（修業年限 2 年）

- ① 人間教育実践リーダーコースの出願資格に該当しない現職教員
- ② 小学校・中学校・高等学校のいずれかの一種免許状を有する者（取得見込み含む）

3 年制コース（修業年限 3 年）

- ① 幼稚園、小学校、中学校、高等学校いずれかの教員免許状を有している者（取得見込み含む）

☆人間教育プロフェッショナルコースについてのQ&A

Q. 人間教育プロフェッショナルコース 2 年制に入学をしたら小学校・中学校・高等学校教諭の専修免許状は取得できますか？

A. 小学校教諭一種免許状を取得済みで入学された方は小学校教諭専修免許状が、中学校教諭一種免許状を取得済みで入学された方は中学校教諭専修免許状が、高等学校教諭一種免許状を取得済みで入学された方は高等学校教諭専修免許状が取得可能です。
小学校・中学校・高等学校教諭一種免許状を取得済みで入学された方は小・中・高の専修免許状が取得可能です。

Q. 中学校教諭一種免許状を取得していますが、小学校教諭一種免許状も取得したいです。可能でしょうか？

A. 人間教育プロフェッショナルコース 3 年制で可能です。1 年目は学部の教育課程で小学校免許に必要な科目を修得します。2 年目・3 年目が大学院での学びとなります。

4. 入試スケジュール（出願手続き～入学試験～入学手続き）

（1）スケジュール

【学内推薦】 募集人員 5名程度

コース	人間教育プロフェッショナルコース
出願期間	2025年4月21日（月）～2025年5月2日（金）
入学試験日	2025年5月17日（土）
合格発表	2025年5月23日（金）
第1次 入学手続き期間	2025年12月8日（月）～2025年12月19日（金）

※この入試は、4ページ・5ページの出願資格・要件に加え、以下の要件を必要とする。

○教職大学院修了後教職に就く者で、以下のいずれかの条件を満たしている者。

- (1) 本学の学生で、2026年3月に卒業見込みの者
- (2) 本学の通信教育部の学生で、2026年3月に卒業見込みの者

【A日程】 募集人員 15名程度

コース	人間教育実践リーダーコース	人間教育プロフェッショナルコース
出願期間	2025年11月3日（月祝）～2025年11月14日（金）	
入学試験日	2025年11月29日（土）	
合格発表	2025年12月5日（金）	
第1次 入学手続き期間	2025年12月8日（月）～2025年12月19日（金）	

【B日程】 募集人員 5名程度

コース	人間教育実践リーダーコース	人間教育プロフェッショナルコース
出願期間	2026年1月12日（月祝）～2026年1月23日（金）	
入学試験日	2026年2月7日（土）	
合格発表	2026年2月13日（金）	
第1次 入学手続き期間	2026年2月16日（月）～2026年2月27日（金）	

(2) 出願方法

志願者は出願に必要な書類を取り揃え、入試検定料を納入後、期日までに創価大学教職大学院事務室宛に持参するか、郵送にて出願してください。なお、郵送の場合、各締切日までに必着となりますのでご注意ください。

※ 窓口時間帯：月～金 9：30～17：00

土 9：30～12：00

長期休業中の平日 9：30～12：00

なお、上記時間帯は変更になる場合がありますので、持参される際は、必ず事前に確認をお願いします。

【郵送先】

〒192-8577 東京都八王子市丹木町 1-236

創価大学教職大学院事務室

※出願上の注意事項

- ① 出願書類を郵送する場合は、各提出書類を同封した大学宛の書留郵便封筒を使用して郵送してください。
- ② 出願書類に不足または不備がある場合には受け付けません。必ず確認の上、提出してください。
- ③ 締切り後の提出は、いかなる理由があっても受け付けません。
- ④ 一度提出した書類及び検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ⑤ 身体的な理由により、受験する上で特別な配慮を必要とする人は、出願書類を提出する際に申し出てください。

(3) 検定料

33,000 円

※ 同封の振込用紙を使用し、出願期間内に銀行窓口にて納付してください。なお、ネットバンキング・ATMからの納付も可能です。その際は、必ず受験生氏名を打電してください。(受験生氏名を打電されないと入金者の特定ができませんのでご注意ください)

振込手数料は別途ご負担となります。

5. 入試方法

(1) 人間教育実践リーダーコース

- ① 書類審査
 1. 研修・研究歴に関する概要及び現物と指導経験に関する概要
 2. 志望理由書 (1,200 文字程度)
- ② 集合試験
 3. 面接試験

(2) 人間教育プロフェSSIONALコース

- ① 書類審査
 1. 志望理由書 (1,200 文字程度)
- ② 集合試験
 2. 教育に関する小論文
※ 学内推薦入試では、受験前年度までの通算GPAをもってこれに代える
(通算GPAを試験の得点に換算するため小論文試験は免除)
 3. 面接試験
※ なお、出願時に本学指定の様式による単元指導計画を提出していただきます。面接試験の中で質問をすることがあります。

6. 試験会場

すべての入学試験は、創価大学会場で行います。

※ 当日の集合会場、集合時間等の詳細は、受験票返送の際、通知します。

7. 試験内容・配点および時間帯

※ 試験内容は以下のとおりですが、時間帯については変更の可能性もありますので、受験票返送の際に同封されている集合時間等詳細を必ずご確認ください。

(1) 人間教育実践リーダーコース

【A日程】 2025年11月29日(土)

【B日程】 2026年2月7日(土)

時間帯	試験内容
10:00~16:00(予定)	○面接試験

※ 正式な集合時間・試験時間については、受験票を送付する際に通知します。

A日程入試・B日程入試配点			
志望理由書審査	研修研究歴に関する概要等審査	面接試験	合計
50	100	200	350

(2) 人間教育プロフェッショナルコース

【学内推薦】 2025年5月17日(土)

時 間 帯	試 験 内 容
10:00~12:00(予定)	○面接試験

※ 正式な集合時間・試験時間については、受験票を送付する際に通知します。

学内推薦入試配点			
志望理由書審査	GPA 審査	面接試験	合 計
50	100	200	350

【A日程】 2025年11月29日(土)

時 間 帯	試 験 内 容
10:00~11:00(予定)	○教育に関する小論文
13:00~16:00(予定)	○面接試験

※ 正式な集合時間・試験時間については、受験票を送付する際に通知します。

A日程入試配点			
志望理由書審査	小論文試験	面接試験	合 計
50	100	200	350

【B日程】 2026年2月7日(土)

時 間 帯	試 験 内 容
10:00~11:00(予定)	○教育に関する小論文
13:00~16:00(予定)	○面接試験

※ 正式な集合時間・試験時間については、受験票を送付する際に通知します。

B日程入試配点			
志望理由書審査	小論文試験	面接試験	合 計
50	100	200	350

8. 合否の判定について

いずれの入試においても、各審査・試験の合計点が満点の6割以上を取得していることを基準として合否を判断します。

9. 合格発表

【学内推薦】 2025年5月23日（金）

【A日程】 2025年12月5日（金）

【B日程】 2026年2月13日（金）

- ※ 受験者全員に「合否通知書」を郵送いたします。また、合格発表日の10時から約1週間、本学教職大学院のホームページで合格者の受験番号を掲載します。これは、情報提供の補助的な手段として行うもので、必ず「合否通知書」で確認してください。
- ※ 合格者には、合格発表当日に「合格通知書」を郵送いたしますが、郵便事情により到着まで2～3日かかることがありますのでご承知おきください。
- ※ 大学構内に合格者の一覧を掲示することはありません。また、合否に関する電話等によるお問合せには、一切応じません。

Ⅲ. 提出書類

1. 提出書類一覧

NO	人間教育実践 リーダー コース	人間教育 プロフェッシ ョナルコース	提出書類	備考
①	◎	◎	志願書	【A票】写真(ﾀﾞｲ4cm×ｺﾞｺ3cm) を貼付すること
②	◎	◎	受験票	【B票】 太枠のみ記入すること
③	◎	◎	写真カード	【C票】写真(ﾀﾞｲ4cm×ｺﾞｺ3cm) を貼付すること
④	◎	◎	志望理由書 (1,200文字程 度)	【D票】※1 ワープロ文書の貼付も可
⑤	◎	—	研修・研究歴に関する概要及び 現物と指導経験に関する概要	※2
⑥	—	◎	単元指導計画書	※3
⑦	◎	—	教育実践レポート	【E票】※4
⑧	◎	—	実習に関わる所見書	【F票】※5
⑨	◎	—	推薦書	【G票】※6
⑩	◎	—	在職期間証明書	【H票】※7
⑪	◎	◎	大学の卒業証明書(見込含む)	3カ月以内に発行したもの
⑫	◎	◎	大学の成績証明書	
⑬	◎	◎	教員免許状の写し又は教員免 許状授与証明書	取得見込の場合は、取得見 込証明書を提出すること。 (取得見込証明書申請書 を提出しないよう注意)
⑭	◎	◎	受験票送付封筒 (定型長3封筒)	住所・氏名を明記し410円 分の切手を貼付すること。
⑮	◎	—	実習に関わる所見書の 提出用封筒	

2. 書類提出上の留意点

※1 ④「志望理由書」【D票】

教職大学院入学後の研究課題を中心にして本学への志望理由について1,200文字程度で記載してください。ワープロ文書の貼付も可とします。なお、末尾に文字数を明記してください。

※2 ⑤「研修・研究歴に関する概要及び現物と指導経験に関する概要」

人間教育実践リーダーコースの受験者は必ず提出してください。作成・提出方法については、13～14ページの【3. 研修・研究歴に関する概要及び現物と指導経験に関する概要の作成について】を参照してください。なお、人間教育プロフェSSIONALコースを受験する現職教員で「研修・研究歴に関する概要及び現物と指導経験に関する概要」を有する場合は、任意書類として提出できます。

※3 ⑥「単元指導計画書」

人間教育プロフェSSIONALコースの受験者は必ず提出してください。作成・提出方法については、15ページの【4. 単元指導計画書の作成について】を参照してください。

※4 ⑦「教育実践レポート」【E票】

人間教育実践リーダーコースの受験者本人が作成する書類です。作成については、16～17ページの【教育実践レポートの作成・提出方法について】を参照してください。

※5 ⑧「実習に関わる所見書」【F票】

人間教育実践リーダーコースの受験者が提出する書類です。学校長（在職機関の所属長）もしくは教育委員会（市区町村または都道府県）に作成を依頼し、証明（署名）を受けてください。作成については、18ページの【実習に関わる所見書の作成・提出方法について】を参照してください。

※6 ⑨「推薦書」【G票】（東京都教育委員会及び創価学園からの派遣者は除く）

人間教育実践リーダーコースの受験者が提出する書類です。都道府県または市区町村教育委員会教育長もしくは学校長に作成を依頼してください。

※7 ⑩「在職期間証明書」【H票】（東京都教育委員会及び創価学園からの派遣者は除く）

人間教育実践リーダーコースの受験者が10年以上の在職経験を証明するために提出する書類です。在職している市区町村教育委員会・もしくは学校長に作成を依頼してください。在職期間には国公立学校での常勤講師以上、並びに教育委員会での在職年数の全てを含みます。複数の機関での在職期間の合計が10年以上となる場合は、それぞれの機関に証明書の作成を依頼してください。在職期間は、2026年度末（2027年3月末）見込みで記載してください。

3. 研修・研究歴に関する概要及び現物と指導経験に関する概要の作成について

【研修・研究歴に関する概要及び現物】の作成について

1. あなたのこれまでの教職歴の中での研究発表（A）や論文発表等（B）の実績を全て列記してください。なお、列記した実績については、その現物・当該箇所（コピー可，奥付含む）を添付して下さい。なお、（A）（B）に重なりがあっても構いません。

例）平成30年度教育研究員発表会（A） 同報告書（B）

（A）研究発表等

（例－校内研修会・研究会、東京都（八王子市）指定教育研究発表大会、◎◎研究会（民間教育団体）実践研究発表大会、◎◎附属小学校研究発表大会等）

（記入例）「人物の心情を直接問わない文学教材の指導」◎◎小学校夏期校内研修会、◎◎年◎月◎日

- 1.
- 2.
- 3.

（B）論文等

（例－教育委員会発行の各種教育論文、月刊◎◎、◎◎研究会紀要、◎◎（書籍の共著・分担・単著執筆等）、◎◎学会研究紀要等）

（記入例）「考えの形成を促す指導法の工夫」『東京都教育研究員報告書』東京都教育委員会、平成30年3月、10頁-12頁。

「人物の心情を直接問わない文学教材の指導」『教育科学国語教育 2022年1月号』明治図書出版、令和4年1月、24頁-26頁。

- 1.
- 2.
- 3.

2. 上記に記した（A）（B）の業績の中で、特筆すべきものをそれぞれ一つずつあげ、その概要を簡潔に述べてください。特になければ記入不要です（論文等）。

（A－◎ の研究発表について）

（B－◎ の論文について）

【指導経験に関する概要】の作成について

1. あなたのこれまでの教職歴のなかで指導者や指導者的な立場としての経験があれば列挙してください。

(例ー初任者研修会実践報告、初任者指導教員、◎◎研究会指導・助言、◎◎実践研究発表大会実践報告、◎◎市教育委員会(教育センター)教育相談員、等)

(記入例) 授業公開「ごんぎつね(4年)」八王子市教育委員会初任者研修、◎◎市立◎◎小学校、平成◎年◎月◎日

- 1.
- 2.
- 3.

2. 上記に記した業績の中で特筆すべきものを一つ取り上げ、その概要を述べてください。特になければ記入不要です。

4. 単元指導計画書の作成について

「人間教育プロフェッショナルコース」の受験者は、以下の書式例に従って、「単元指導計画書」を作成し、出願書類と一緒に提出してください。枚数はA4用紙1枚（両面可）とします。

なお、提出された「単元指導計画書」について、面接試験の中で質問をすることがあります。

書式例

(校種) 第○学年「(教科等)」 単元指導計画書

氏名 _____

1 単元名

* 教科・領域によっては、「題材名」「教材名」「主題名」等に置き換えてもよい。

2 単元の指導目標

3 指導について

- (1) 単元について・・・学習指導要領等により、単元の教育的意義等を記述する。
- (2) 教材について・・・指導に当たって、その教材の特性等をどのように生かすかを記述する。

4 単元の指導計画と評価計画 (○時間扱い)

* 評価の欄には、重視すべき「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の観点を示し、学習活動に即した具体的な評価規準等を記述すること。

	学習活動・学習内容	評価規準・評価方法等
第1時		
第2時		
第3時		

5 指導に当たっての工夫等

* 本単元の授業づくり上、工夫・改善しているところを具体的に記述すること。

- (例) ・学習形態の工夫 (一斉・グループ・個別の設定の意図 等)
- ・指導方法の工夫 (発問、板書 等)
 - ・教材・教具等の工夫 (ワークシート、電子黒板、タブレット端末 等)

IV. 「学校等における実習」の免除認定について

「人間教育実践リーダーコース」の受験者は、「学校等における実習」の免除を認定するため、10年以上の教職経験の実績を評価する「教育実践レポート」(E票)と「実習に関わる所見書」(F票)を提出していただきます。提出された書類の審査と面接試験により「学校等における実習」7単位の免除認定を行います。

これらの提出書類は実習免除の認定に使用するものであり、入学試験の合否判定に影響を及ぼすものではありません。

なお、「教育実践レポート」の記述内容が、出願時に提出した「研修・研究歴に関する概要及び現物と指導経験に関する概要」の記述内容と重複しても結構です。

1. 【教育実践レポート】(E票)の作成・提出方法について

- (1) 「教育実践レポート」(E票)は、受験者本人が作成する書類です。
- (2) 作成にあたっては、同封した「教育実践レポート」に記入するか(ワープロ文書の貼付も可)、本学教職大学院のホームページからダウンロードし、WORDで作成しても結構です。作成にあたっては、以下の書式内容を参考にしてください。

◎タイトル	「教育実践レポート」
◎用紙サイズ	「A4サイズ」
◎印刷の向き	「縦」
◎文字の方向	「横書き」
◎フォント	「MS明朝 10.5ポイント」
◎ページ設定	「40文字×25行」
◎文字数の制限	「項目毎に1,000字程度」 (項目毎に改ページすること)
◎図・表	「別添可」

- (3) 「教育実践レポート」(E票)の提出の際は、全ページをクリップでとめ、出願用封筒に同封して提出してください。図や表を添付していただいても結構です。
- (4) 「教育実践レポート」(E票)の認定上の観点を次ページに示します。それぞれの観点に見合うようこれまでの教育実践を反映した内容の「教育実践レポート」を作成してください。
(例) 【項目1】教育課程 では、これまで作成した週案を例示し、その内容について説明する。

【10 項目の観点】

【項目 1】 教育課程

週ごとの指導計画、授業時数などを考慮し、それらを適正に実施することができる。

【項目 2】 指導技術

指導技術（発問、指示、説明、板書、資料提示など）や児童生徒理解等（授業における児童生徒の理解度や関心意欲など）について、自己の授業実践で活用することができる。

【項目 3】 授業づくり

児童生徒の学習状況を把握しつつ、明確なねらいをもった指導案を作成するとともにそれらに適切な教材を研究・開発し、授業を効果的に実施することができる。

【項目 4】 学習評価

指導と一体化した評価の在り方について理解し、授業実践とあわせて適切な評価の実施とその活用ができる。

【項目 5】 特別活動

児童会・生徒会活動や学校行事等について、担当者として適切に企画・調整・実施にあたることができる。

【項目 6】 生徒指導・教育相談

児童生徒の問題行動への対応について、校内の連携協力体制のもと、主体的かつ適切に実施することができる。

【項目 7】 特別支援教育・キャリア教育

特別な支援を必要とする児童生徒への支援、また適切な勤労観を養うキャリア教育について、校内の組織的・計画的・継続的な体制のもと、主体的かつ適切に実施することができる。

【項目 8】 学級経営

担任として安定的に学級を経営し、保護者との信頼関係を築くことができる。

【項目 9】 学校経営

学校組織の一員として、学校の組織や協力体制等を理解し、校務を適切に分担し遂行することができる。

【項目 10】 相互向上・相互協力

学校、または地域の教育課題を想定しながら、他の教員と協力して、学校教育の充実と改善のために職務を遂行することができる。

2. 【実習に関わる所見書】（F票）の作成・提出方法について

- (1) 「実習に関わる所見書」（F票）は、学校長（在職機関の所属長）もしくは教育委員会（市区町村または都道府県）に作成を依頼し、証明（署名）を受けてください。
- (2) 作成には本学所定の用紙を使用してください。別紙「実習に関わる所見書」（F票）に直接記入するか、本学教職大学院ホームページからダウンロードし、ワープロソフトで作成しても結構です。
- (3) 作成にあたっては、「実習に関わる所見書」（F票）に記載されている【10項目の観点】に即して、出願者のこれまでの教職経験や役職経験等を踏まえ、「5段階評価による評点」と「総合所見」を記入してください。なお、特記事項等があれば項目ごとに記入してください。
- (4) 5段階評価の基準は、以下の通りです。

評 価	評 点
特 に 優 秀	5
優 秀	4
普 通	3
や や 劣 る	2
劣 る	1

- (5) 記入の後、学校長もしくは教育委員会（市区町村または都道府県）による証明（署名）を受けてください。
- (6) 作成後、「実習に関わる所見書」用封筒に同封して提出してください。なお、出願者本人の開封は無効となりますのでご注意ください。

V. 入学手続・学費

合格者は、入学手続期間内に入学金・学費等を納入してください。手続の詳細については、合格者にお送りする入学手続書類にて通知致します。各手続期間内に手続きを完了しない場合は合格を取り消します。

1. 入学手続期間

(1) 第1次入学手続期間

【学内推薦】 2025年12月8日(月)～2025年12月19日(金)

【A日程】 2025年12月8日(月)～2025年12月19日(金)

【B日程】 2026年2月16日(月)～2026年2月27日(金)

※ 上記の期間内に入学金等を振り込み、入学手続きを完了させてください。

(2) 第2次入学手続期間

学内推薦及びA日程の合格者のみ第2次入学手続きがあります。手続きの時期は2月下旬の予定です。詳細については、入学手続書類にて通知します。期間内に学費等を振り込み、第2次入学手続きを完了させてください。

2. 入学金・学費等 ※入学金・学費等は、改定される場合があります。

(1) 入学金

納入額	対象者
100,000円	本学学部・創価女子短期大学の卒業生及び卒業見込者 本学大学院の修了生・修了見込者 本学通信教育部の卒業生
200,000円	上記以外

(2) 学費（授業料・施設設備費・保健費）

学費内訳	コース	一括払い	2回分割払い	
		入学手続時	入学手続時	秋学期納入時
授業料	人間教育実践リーダーコース 人間教育プロフェッショナルコース2年制	810,000円	405,000円	405,000円
	人間教育プロフェッショナルコース3年制 (1年次のみ)	530,000円	265,000円	265,000円

(3) 注意事項

- ①学費等の納入は1回払い（入学手続き時に一括納入）または、2回分割払い（入学手続き時・秋学期に分割納入）が選択できます。
- ②入学手続き後、事情により入学を辞退する場合があっても入学金は返還しません。ただし、2026年3月末日までに届け出のあった場合に限り、入学金を除く学費等は返還します。

VI. 奨学金

創価大学教職大学院生が受給できる奨学金は給付・貸与を含め、下記の通りです。

(2025年4月1日現在)

1. 創価大学教職大学院牧口教育基金会奨学金【給付】

名 称	金 額	期 間	対 象	選 考 基 準
創価大学教職大学院 牧口記念教育基金会 奨学金	◎1年次 1,000,000円 (年額)	1年	人間教育実践リ ーダーコースか ら最大5名まで	教育委員会等の派遣研修制度に よる就学者以外 (休職制度を利用して進学する者)
	◎1年次 1,000,000円 ◎2年次 750,000円 ◎3年次 750,000円	標準修 業年限 まで	人間教育プロフ ェッショナルコ ースから最大 10名まで	(1)10年未満の現職教員で教育 委員会等の派遣研修制度による 就学者以外 (休職制度を利用して進学する者) (2)教員採用試験に合格し、教職 大学院に進学する者

※学内外の他の給付奨学金の給付もしくは給付の決定を受けている方は除きます。

2. 創価大学教職大学院給付奨学金【給付】

名 称	金 額	期 間	対 象	選 考 基 準
創価大学教職大学院 特別奨学金	500,000円 (年額)	標準修業 年限まで 毎年	毎年 最大3名	入学試験の成績で選考
創価大学教職大学院 給付奨学金	200,000円 (半期)	半期	毎 Semester 最大2名	学期の成績優秀者(1回のみ)

※学内外の他の給付奨学金の給付もしくは給付の決定を受けている方は除きます。

3. 日本学生支援機構貸与奨学金

名 称	種別	金 額	期 間	対 象	返還利子
日本学生 支援機構 貸与奨学金	第一種	50,000 円 (月額)	原則標準 修業年限	日本学生支援機構より受 給者数が指定されます。 応募者多数の場合は、人 物、健康、学力、経済面 により選考となります。	無利息
		88,000 円 (月額)			
	第二種	50,000 円 (月額)	原則標準 修業年限		上限 3%
		80,000 円 (月額)			
		100,000 円 (月額)			
		130,000 円 (月額)			
		150,000 円 (月額)			

※これまでに大学院で日本育英会および日本学生支援機構の奨学金を借りたことのある方は、申し込むことができない場合や借りられる期間(貸与終期)が制限される場合があります。

※希望により定額(10万円・20万円・30万円・40万円・50万円)を増額して貸与できる入学時特別増額貸与奨学金(有利子貸与)があります(初回交付時1回のみ)。

※各奨学金の制度、金額等は、変更される場合があります。

Ⅶ. 合理的配慮

本学教職大学院の入学試験においては、「創価大学障害学生支援ガイドライン」に基づき、身体等に障害のある志願者に対し、情報提供ならびに入学試験における公平・公正な機会の提供に努めます。身体等に障害があり、受験するうえで合理的配慮を必要とする者は、本学教職大学院が定める申請期限内に所定の手続きを行ってください。

申請にあたっての留意事項

1. 入学者選抜に関する方針（アドミッション・ポリシー）

本学教職大学院は、アドミッション・ポリシー等に基づき、筆記試験（人間教育プロフェッショナルコースのみ）や口述試験、志望理由書等の多面的な評価を総合して入学者を選抜します。

※本要項「Ⅰ. 教育理念・教育方針」参照

2. 障害等による受験上の合理的配慮の提供の可否について

入学試験における合理的配慮の提供の可否及びその内容は、提出された申請書（添付書類の内容を含む）に基づいて総合的に判断します。よって、希望する内容すべてに対応できるとは限りません。特に、希望する内容が、入学試験の趣旨の本質的な変更や、他の受験生の試験環境の変更等に及ぶ場合には、「対応が困難」と判断する場合があります。

3. その他

本申請は入学試験における合理的配慮に係るもので、入学後に希望する合理的配慮の提供を約束するものではありません。入学後の修学（学内施設の使用等を含む）において提供を希望する場合は、所定の申請を改めて行う必要があります。このことから、申請者本人が事前に、入学後の修学について本学教職大学院、障害学生支援室へ相談・確認した上で出願することを求めます。

申請の手続き

1. 手続き上の留意点

(1) 所定の用紙「入試における合理的配慮の申請書」をはじめ、医師の診断書等の必要書類を提出してください。

※詳細は、下記の「3. 提出物」を確認してください。

※申請内容により、追加の情報提供や面談の実施をお願いする場合があります。

(2) 合理的配慮の提供の可否及びその内容が決定次第、本学教職大学院から「入学試験の合理的配慮に関する回答書」を送付します。

※「入学試験の合理的配慮に関する回答書」は、出願期間前までに発送する予定です。

(3) 「入学試験の合理的配慮に関する回答書」受領後の入学試験の出願手続きについては、本学教職大学院入学試験要項に基づき、所定の期間内に行ってください。

2.. 提出物

- ・所定の用紙「入試における合理的配慮の申請書」（下記お問い合わせ先にてお取り寄せください。）
- ・障害者手帳（所持者のみ。コピー可。）
- ・医師の診断書（医師による診断名、症状、配慮が必要とされる事項について、具体的に記入してもらうこと。コピー可。）
- ・「個別の教育支援計画」、「個別の指導計画」（教育機関において作成されていた場合のみ提出。コピー可。）

※提出期限は、下記のお問い合わせ先にてご確認ください。

3. 不慮の事故等による申請（申請期間外）について

不慮の事故等による合理的配慮の申請については、随時受け付けます。申請内容によって、提供準備に時間がかかる場合があるため、速やかに本学教職大学院事務室までご連絡ください。

4. 問い合わせ先及び申請書類の送付先

- ・創価大学教職大学院事務室「入試における合理的配慮の申請書」担当
〒192-8577 東京都八王子市丹木町 1-236
TEL : 042-691-9494 Fax : 042-691-9332
E-mail:kyoshoku-d@soka.ac.jp

創価大学教職大学院事務室

〒192-8577 東京都八王子市丹木町 1-236

TEL 042-691-9494

FAX 042-691-9332

E-mail kyoshoku-d@soka.ac.jp

ホームページ <https://www.soka.ac.jp/grad-edu/>